

美しい心と強い体でよく考え夢と目標を実現する子

かしこい子 あたたかい子 たくましい子



知風

小熊小学校学校だより

第 10 号

令和6年1月25日



《12月・1月の行事や活動》

○冬休み前集会でのBigサプライズプレゼント（12/25）

冬休み前の最終日、12月25日の5時間目に、第3ステージ締めくくりの会（冬休み前集会）が予定されていました。その直前、午後1時に、大谷翔平選手からの全国の小学校へのプレゼントであるグローブが、小熊小学校に届いたのです。まさに、Bigなクリスマスプレゼントになりました。子供たちが驚き、喜ぶ姿をNHK岐阜さんが取材にみえ、その日の夕方のニュースで放映されました。全校児童が見て触れることができ、大谷選手から、希望や目標を与えていただいたようでした。

その後、PTA本部・実行委員会の方、学校運営協議会の方々に披露させていただきました。保護者の皆様には、2月1日（木）、7日（水）の授業参観日の学級懇談会後の15：20～15：50に、職員室前で展示させていただきますので、どうぞお手に取ってご覧ください。尚、今後は、希望者の児童に、夢や目標に向かって頑張る気持ちを高めるキャッチボール「夢キャッチ」体験をしてもらう予定です。



書初め会（1/9）

休み明けの1/9（火）に、全校で「書初め会」を行いました。典雅な筆の調べが校舎に流れ、どの教室も静まり返った緊張感の漂う中、真剣に書初め用紙に向かっていました。どの子の書き初めにも、今年の決意が表れているようでした。校内で選ばれた児童の作品は、絵画・造形作品と合わせて、羽島市美術展（不二羽島文化センター）にて、2/1（木）～4（日）まで展示されておりますので、是非、おでかけください。



ひびあきい集会Ⅱ

容姿のことで悩んでいる子のお手紙について、各学級で話し合ったことを発表し、そのあと、自分の思いを話し合いました。

各学級の発表内容

〈1年生〉1年生では、この手紙についてみんなでしんけんに話し合いました。体のとくちょうをからかうようなあだ名で友だちをよぶことは、バカにして、たのしんでいるみたいです。この手紙をよんで、心がいたみました。いわれた人は、心がきずつき、とてもショックだと思います。ひとりひとりの名前は、おやがつけてくれた、すごくだいじなものです。だから、人をあだ名でよぶことはだめだと思います。あいての気持ちをかंगाえずに、あだ名をいっている子の心も、だめになってしまうと思います。それが、いじめになっているからです。

にんげんは、ちがいはあっていいと思います。自分は自分でいいのです。ちがいがあからたのしいです。でも、この手紙にかかっているようなことは、いまのおぐま小学校にもあると思います。ひとりひとりが、しんけんをまもる人になりたいと思います。

〈2年生〉

・わたしも、おさないころいじめられたことがあります。だけど、じゅぎょうで、友だちが、「みんなとちがうことは、わるいことじゃないよ。」と書いてくれました。わたしもそのとおりだと思います。なので、あなたも『ちがうことはわるいことではない。』と思えば、きっと気持ちがすっきりすると思います。なので、あなたもあだ名とかを気にせずに、あなたらしく生きられるのなら、目が大きいことは、わるいことではないと思います。自分の顔、体かく、しん長、かみがたなど、どれも同じ人間はいないので、あなたらしく生きてください。きっと、だれよりもいい人間になれると思います。

・とくちょうは、だれでもあります。わたしは、手をあげるのがにがてです。けれど、とくちょうを言い始めたらめちゃくちゃあります。親さんがいっしょうけんめいうんでくれたし、名前も、いっしょうけんめい気持ちをこめてつけたと思います。

声が同じ人とか体じゅうが同じ人、しん長が同じ人はいないです。とくちょうは、あっていいことです。あだ名を言われても、言われたほうは悲しくなるし、言ったほうもいいことなどありません。それなら、いいことを言ったらうれしくなったほうがいいじゃないですか。みんなちがって、みんないいです。

〈3年生〉自分も、見た目のことで聞いてしまったことがあるけれど、言われた相手はいやな気持ちになっていたかもしれないと気づきました。わたしも言われたくないことを言われたことがあるけれど、言った人もわるきがあって言ったわけではないと思います。自分とちがうことは、気になってしまうのは仕方ないけれど、人それぞれちがって、それがよさだから、あだ名をつけて、相手をいやな気持ちにさせることは、ぜったいにしてはいけないし、私たちも一人一人ちがうことを大切にしていきます。

〈4年生〉お手紙を聞いて、ぼくたち4年生は、個性について考えました。個性とは、一人一人がもった自分だけの性格や性質だと考えました。それは、自分でも大切にすべきだし、ほかの人にも大切にしてほしいものです。だから、お手紙の人は、自分の大切なものなのにかかわられていて、すごくいやだったと思います。4年1組では、「話すときにはその人を大切にしているか考えて話すといい」と考えました。あだ名をつけたり、人がいやがること・傷つくことを言ったりするのは、その人を大切にできていません。一人一人の個性を大切に、一人一人のことを思って、これからも生活していきたいと思います。

〈5年生〉5年生では、お手紙を読んで考えました。「相手の気持ちを考える」「見た目で判断するのではなく、その人の言動や中身を大切にしたい」「みんながちがってみんないい」

私たちは、誰一人として、同じ顔、身長の人はいません。そんな違いを、自分だけがもっている「よさ」だと思って、自信をもつこと、そんな「よさ」を認め合うことが大切だという考えができました。道徳の授業で、「名前の呼び方」についても考えることができました。そこでは、呼び方一つで相手を傷つけてしまったことを学びました。名前は、お父さんやお母さんにつけてもらった大切なものだと思っています。みんなちがってみんないいのです。仲間を大切にできる人になっていきたいです。

〈6年生〉私たちのクラスでは、お手紙を読んで、相手の気持ちを読んで、相手の気持ちを考えること、仲間とたくさん関わって仲を深めること、自分も仲間も大切にすることを大事にしていきたいという意見が出ました。

仲間の感想

・私もし、嫌なあだ名をつけられたら、不登校になったり、友達を信用できなくなったりして、一度きりしかない自分の人生がめっちゃくちゃになってしまうと感じました。だから、自分も仲間を大切にしたいです。

・嫌なあだ名をつけられてうれしくなる人はいないと思います。自分がやられて嫌なことは、相手にしないことが大切だと思います。これからは、相手の気持ちを考えた行動を心がけたいです。

・遊び半分でやっても、やられる側は、深く傷ついてしまうこともあります。自分も仲間も大切にしたい、学校生活を送りたいです。また、中学生になっても、高校生になっても、社会人になっても、人と関わる場面が増えるので、相手の気持ちをしっかりと理解できる人になりたいです。こうした思いをもつ人が6年生にはたくさんいました。この思いを決して忘れず、これからの生活に活かしていきたいです。

《お知らせ》

- ・一年で最も寒い時期になりました。インフルエンザや新型コロナ等の感染症や胃腸炎などの予防に、ご家庭でもご注意ください。
- ・2/1（木）～7（水）に「学習の足跡展」を北舎1階ワークスペースで行います。各学年の児童のノートやタブレット（ロイロノート）を使ったまとめ方の参考例、また、羽島中生徒さんのノートもお借りし、展示をしますので、授業参観の折に是非ご覧になってください。
- ・2/8（木）～14（水）まで、今年度最後の家庭学習グレードアップ週間の取組を行います。今回は、学年で習った漢字の総まとめとして、漢字の力の定着を図る目的で行います。ご家庭での見届けと励ましをお願いいたします。